

令和3年3月26日

関係各位

学校法人昌賢学園
群馬医療福祉大学
学長 鈴木利定
(公印省略)

令和3年度 教員免許状更新講習のお知らせ

平素より、本学の教育・研究の振興に格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成19年度6月に教育職員免許法が改正され、平成21年度から教員免許状の更新制が導入されました。

群馬医療福祉大学では、この趣旨に基づき、令和3年度教員免許状更新講習を別紙要項により実施いたします。

つきましては、要項を熟読の上、期限内に受講申し込みをいただきますようお願い申し上げます。

問合せ先

〒371-0823

群馬県前橋市川曲町191-1

電話027-253-0294

学校法人昌賢学園

群馬医療福祉大学

教員免許状更新講習 係

令和3年度 教員免許状更新講習 実施要項

学校法人昌賢学園
群馬医療福祉大学

1 講習の目的

令和3年度の教員免許状更新講習の実施により、現職教員等の資質向上に資する。

2 講習の概要

(1) 募集定員 100人

(2) 講習会場 群馬医療福祉大学 社会福祉学部（前橋キャンパス）
群馬県前橋市川曲町 191-1

JR新前橋駅からバス15分

関越自動車道高崎インターから5分

(3) 講習時間数 合計30時間（6時間×5講座）

【必修】領域：6時間、【選択必修】領域：6時間、【選択】領域：18時間

(4) 講習日程 8月17日（火）～8月23日（月）

8/17（火）	8/18（水）	8/19（木）	8/20（金）	8/23（月）
【必修】講座	【選択必修】講座	【選択】講座	【選択】講座	【選択】講座
1講座	2講座	3講座	3講座	3講座

※ 講座内容については後掲の開設講座一覧をご覧ください。

(5) 講習時間 午前9時20分から午後5時00分

① オリエンテーション（9:20-9:30）

② 授業 75分×4（9:30-10:45、10:55-12:10、13:10-14:25、14:35-15:50）

③ 修了認定試験（16:00-16:50） アンケート（16:50-17:00）

(6) 受講料 1講座 6,000円

(7) その他

① 校内は上履き使用になっておりますので、「上履き」をご準備下さい。

② 昼食をご用意ください。学内の食堂は、営業していません。

3 受講対象者

(1) 令和4年3月31日、令和5年3月31日に修了確認期限を迎える旧免許状所持者。

(2) 有効期間の満了の日が令和4年3月31日、令和5年3月31日である新免許状所持者。

※上記（１）（２）該当の幼稚園・小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の教員及び養護教員の方。

※コロナ禍の状況によっては、群馬県外からの参加をお断りすることもあります。

- (3) 現在、休眠状態の免許状を所持する方は受講が可能な場合があります。
(詳しくは、県教育委員会の教員免許状更新講習担当者までご相談・ご確認をお願いします。)

※原則として30時間（必修講座6時間、選択必修講座6時間、選択講座18時間）受講可能な方を受講者として受け付けますが、受講者の都合等により部分的な講座のみを受講することも可能です。（ただし、定員を越える場合等については、お断りをさせていただきます。）

4 申込手続き・諸注意等

(1) 受講申込み

- ① 本学ホームページからダウンロードした「受講申込書」に必要事項を記入の上、所属長の証明を受けてください。
- ② 角2（A4が入る）サイズの封筒に必要書類等一式を入れ郵送で申し込んでください。
- ③ 《必要書類等一式》

- | |
|---|
| <p>a. 「受講申込書」（写真貼り付け、所属長の証明を得たもの）
b. 「受講にあたっての課題意識等」（1講座のみ・1枚で結構です。）
c. 94円切手を貼り付けた「返信用封筒（長形3号：120×235mm）…<u>3通</u>」
【1回目通知・2回目通知・修了（履修）証明書の送付に使用】
（表に、受講者の「郵便番号」「住所」「氏名」を必ず書いてください。）</p> |
|---|

※ 申込み宛先 〒371-0823 群馬県前橋市川曲町 191-1
群馬医療福祉大学 教員免許状更新講習 係

- ④ 確認のため、下記宛にメールで申込み済み連絡をしてください。
✉ menkyo-ks@shoken-gakuen.ac.jp
<件名> 「教員免許状更新講習申込み」
<本文>
「1. 氏名、2. 郵便番号、3. 住所、4. 連絡が付き電話番号、5. 勤務先」

- (2) 申込み期間 令和3年4月16日（金）～6月11日（金）必着
ただし定員に達し次第、締め切らせていただきます。

(3) 申込み上の諸注意

- ① 「受講申込書」は必ず本年度版を利用し、記入漏れがないよう確認の上申し込んでく

ださい。※「受講申込書」の内容等に不備があった場合は、電話連絡を入れます。

- ② **【必修】**講座（1講座）・**【選択必修】**講座（2講座）・**【選択】**講座（3日間・各3講座）の申込み状況により受講者の決定を行います。

(4) 受講者決定までの主な流れ・その後の通知内容等

- 1) 必要書類に不備がないことが確認されたのち、受講者を決定します。
- 2) 第1回目通知**【受講者の決定後、下記書類を6月中旬頃に発送します。】**
 - ①受講確定通知書 ②受講確認通知書 ③受講辞退の取り扱い ④振込依頼書
- 3) 受講料の納付

「受講確認通知書」が届いた受講者は、指定された期日までに確実に納付をお願いします。

【振込方法】

次のどちらかの方法で振り込んでください。

- ①銀行等の窓口で本学から送付された「振込依頼書」で納付する。
振込後「振込依頼書」添付の「振込確認書」を大学宛て送付してください。
- ②各金融機関 ATM・コンビニ ATM から指定の口座へ振り込む。
振込後「振込依頼書」添付の「振込確認書」に ATM から出力された「キャッシュサービスご利用控」を添付し、大学宛て送付してください。

※受講講座数により受講料が変わります。振込手数料は受講者負担となります。

※指定された期日までの受講キャンセルについては受講料を返金いたします。

※振込期限 令和3年7月9日（金）

4) 第2回目通知**【事前の詳細についての案内を、7月中旬頃に発送します。】**

- ①事前案内通知 ②駐車場のご案内 ③受講場所の案内図 ④日程表（会場一覧）

(5) 問合せ先 〒371-0823 群馬県前橋市川曲町 191-1

群馬医療福祉大学 教員免許状更新講習 係

電話 027-253-0294

4 開設講座一覧

※各講座の詳しい内容については、本学ホームページをご覧ください。

※講師は変更する場合があります。

【必修】講座

開設日	開設講座名	定員	担当講師	受講料
8月17日(火)	【必修】最新の教育事情と学校現場の課題	100人	時田 詠子 (社会福祉学部教授) 小林 義信 (高等教育支援センター副センター長、社会福祉学部講師)	6,000円

【選択必修】講座

開設日	開設講座名	定員	担当講師	受講料
8月18日(水)	【選択必修1】教育相談の理解 ー児童・生徒の現状と課題からー	50人	大島 由之 (社会福祉学部助教) 青木美穂子 (社会福祉学部講師)	6,000円
8月18日(水)	【選択必修2】子どもの貧困をめぐる現状と課題	50人	川端奈津子 (社会福祉学部助教)	6,000円

【選択】講座

開設日	開設講座名	定員	担当講師	受講料
8月19日(木)	【選択1】子どもに関わる現代社会の課題	40人	榊原 清 (リハビリテーション学部講師) 植原美智子 (社会福祉学部講師)	6,000円
8月19日(木)	【選択2】幼児教育・保育の課題と展望	30人	田中 輝幸 (社会福祉学部准教授) 吉澤 幸 (社会福祉学部助教)	6,000円
8月19日(木)	【選択3】福祉現場での体験学習 ー福祉・介護の基礎知識と施設体験ー	30人	白井 幸久 (短期大学部教授) 矢嶋 栄司 (短期大学部助教) 辻 志帆 (短期大学部講師)	6,000円
8月20日(金)	【選択4】作業療法の視点から見た子ども理解と支援のあり方についてー感覚統合とシーティングー	30人	古田 常人 (リハビリテーション学部教授) 宮寺 亮輔 (リハビリテーション学部講師)	6,000円
8月20日(金)	【選択5】特別支援教育の視点による児童生徒への適切な支援を考える 教育の視点ー教育方法のアプローチー	40人	江原 京子 (社会福祉学部教授) 川端奈津子 (社会福祉学部助教)	6,000円
8月20日(金)	【選択6】子どもの表現力を育む指導の工夫	30人	関根 和子 (社会福祉学部講師) 高橋 美穂子 (社会福祉学部講師)	6,000円
8月23日(月)	【選択7】運動による障害予防 ー理学療法の観点からー	40人	柴ひとみ (リハビリテーション学部准教授) 新谷 益巳 (リハビリテーション学部助教)	6,000円
8月23日(月)	【選択8】子どもの育ちと領域「環境」	30人	塚越亜希子 (社会福祉学部講師)	6,000円
8月23日(月)	【選択9】プログラミング的思考を身につけよう	30人	藤本 壱 (医療技術学部教授)	6,000円

群馬医療福祉大学 教員免許状更新講習の概要

開設日	講習の名称	講習の概要	主な対象
8月17日	【必修】 最新の教育事情と学校現場の課題	最新の教育事情や学校を巡る諸課題及び教員の役割について、理論だけでなくアクティブ・ラーニングも取り入れ学ぶ。また、特別支援教育の考え方を理解し、子供の発達に関する課題や今後の指導方法について考える。	全
8月18日	【選択必修1】 教育相談の理解－児童・生徒の現状と課題から－	児童・生徒の現状と課題を探り、教育相談の観点から不登校やいじめ問題等について考え、その予防や対処について理解を深める。	小・中・高 特支・養
8月18日	【選択必修2】 子どもの貧困をめぐる現状と課題	子どもの貧困や児童虐待が深刻化する背景には、大人社会の格差や雇用不安を引き起こす社会構造がある。こうした状況は、子どもの生活に直接的な影響を与えるだけでなく、学力や進路にも不利益を生じさせ、貧困の再生産リスクを高める。本講習では、子どもの権利擁護の観点から子どもの貧困問題への認識を深め、教育現場はどのような役割を担うことができるのかを考える。	幼・小 中・高 特支・養
8月19日	【選択1】 子どもに関わる現代社会の課題	発達障害や児童虐待等の教育に関わる現代的課題について考え、学校における対応や家庭、児童福祉諸機関と学校との関わり方、地域との連携等について学ぶ。	幼・小 中・高 特支・養
8月19日	【選択2】 幼児教育・保育の課題と展望	幼児教育や保育の質の向上を目指し、幼児期の発達段階や遊びと学びの関係について理解を深める。また、日本の幼児教育や保育の現状と課題及び幼保小の連携等について学び、家庭での子育て支援にも資する。	幼・小 特支・養
8月19日	【選択3】 福祉現場での体験学習－福祉・介護の基礎知識と施設体験－	総合的な学習の時間などで児童・生徒が社会福祉施設での体験学習を実施する際に必要となる利用者への対人援助の基本である知識・技術を習得し、介護や福祉の理論や実践指導のポイント等について学ぶ。	小・中・高 特支・養
8月20日	【選択4】 作業療法の視点から見た子ども理解と支援のあり方について－感覚統合とシーティング－	感覚の特徴とその問題、及び学習との関係を学ぶ。また、学習において、良い姿勢の意義や不良な座位姿勢の弊害について考える。	幼・小 中・高 特支・養
8月20日	【選択5】 特別支援教育の視点による児童生徒への適切な支援を考える 教育の視点－教育方法のアプローチ－	「インクルーシブ教育システム」の構築の重要性が謳われている。福祉・教育の両面から多職種連携も含め、教師の指導力と学校の支援体制について習得する。	幼・小 中・高 特支・養
8月20日	【選択6】 子どもの表現力を育む指導の工夫	生活や社会の中の形や色など豊かに関わる資質・能力を育成する指導の工夫について、造形遊びの実技を通して考える。また、ダンスを通して他者との共感力を高め、コミュニケーション力および自己の開放手段等、生きる力を養う指導の内容と構成について模索する。	幼・小 特支・養
8月23日	【選択7】 運動による障害予防－理学療法の観点から－	ラジオ体操を教材とし、心拍数の変化・うつ病予防・身体の動き等との関連を通じて運動器検診の実際について理解を深める。また、幼児期から成人に至るまでの体力・運動能力の向上と並行して、スポーツ外傷の発生とその対応について学ぶ。	幼・小 中・高 特支・養
8月23日	【選択8】 子どもの育ちと領域「環境」	ICT化・情報化が進む現在、「子どもの育ちになぜ自然体験が必要なのか、なぜ伝統的な遊びに親しむ必要があるのか」を子どもを取り巻く現状と新たな課題から明らかにし、幼稚園教育要領における「環境」の指導法のあり方について考える。具体的には、身近な自然を題材に楽しめるネイチャーゲームや伝統的な遊びとしてのわらべうたの魅力について演習形式で学び、それらを幼児教育に取り入れる意義を理解する。	幼稚園教諭 保育教諭
8月23日	【選択9】 プログラミング的思考を身につけよう	新学習指導要領では、小学校で「プログラミング的思考」を教えることが必修化されました。それに対応して、プログラミング必修化に至った背景やプログラミング的思考とは何かという解説、具体的な指導事例の紹介を行います。またノートパソコンを持参いただき、「スクラッチ」を使った実習を通して中学校教諭や高等学校教諭であっても役立つ内容とし、プログラミング的思考を身につけることを目指します。	小・中・高 特支・養